

第3回 淀江IC周辺用地活用検討委員会 議事録概要版

1. 日時：令和5年11月13日 15:00～16:30
2. 場所：大山町役場大山支所 会議室1
3. 出席委員：12人（欠席5人）
4. 議事概要：下表に示す

事務局	（開会、挨拶、配布資料説明について省略） 議事1. 前回会議のおさらい （省略） 議事2. 提言書（案）について タイトルは「淀江IC周辺用地の活用の意義と活用計画について（案）」 構成は、 1. はじめに 1) 委員会の目的 2) 淀江IC周辺用地の概要 3) 大山町の現状と課題 4) 大山アウトドアライフ構想 2. 淀江IC周辺地活用の意義と妥当性 1) 対象地活用の意義 2) 対象地活用の妥当性 3. 提言 1) 活用の方向性と具体例 ①広さを活かす ②ロケーション・地域特性を活かす ③エリアに不足するものを補う ④他にない尖ったものを ⑤地域と繋がり民間との連携で展開する交流の場 ⑥多様な政策課題に対応する連携機能 2) 発展可能性と持続性のある運営形態 ①国、県、町の役割と地域の参加 ②運営管理しやすい規模から 4. おわりに 巻末資料 また、今回欠席している委員から以下の意見を頂戴している。 委員・実現可能なプランとして、RVパークとサイクルステーション、バンガローはよいと思った。人員配置を最小限にしつつ、利用者が気軽
-----	--

	にお金を使える施設のほうが、よりよいサービスになるのではない か。 委員・提言内容も私の考えに近いものになっており、まとめてある資料に 賛成で提言書として提出されることに問題ない認識である。 委員・チャレンジショップは良いと思った。牛馬市のイベントが話題にな っていたので車をメインにするのも。夜間の管理や若者にとってア クセスしにくいという点が課題。
会長（司会）	この提言書は、検討会で話した内容のまとめという位置付けであり、この提言 書を踏まえて、大山町と国・県で協議するように求める文書となっている。 提言書について、1 ページの「はじめに」から順を追って意見を頂きたい。 （「1. はじめに」は特に意見なし） 「2. 淀江 I C 周辺地活用の意義と妥当性」で意見はあるか。
委員	内容が大山町目線になっており、県や国がこの土地を活用することの意義をあ まり感じられないのではないかと。県や国にとっても意味のある場所であるとい う要素が不足していると感じた。
会長（司会）	そこは活用方法に記述している通り、色々散りばめられている。2024 年問題や 鳥取県西部地域全体での防災の拠点など。活用方法がはっきりと決まっていな い提言であるため、色々な可能性は残しておきたい。
委員	米子市に対しては何かアプローチをかけるのか。米子市側の意見も聞きたい。
委員	この提言書を見て、大山町が整備しないといけないものを全てまとめたように 感じた。第 1 回の委員会の段階では観光重視という話だったので、拠点となる ような施設になればと思っている。全部をまとめるのも一つの案だが、核とな るような施設がほしい。個人的には「牛の駅」が良いと思った。
会長（司会）	米子市との連携について、留意事項等で記述を行う。
委員	大山町単独事業のようにまとめると、事業費的に大きいことができなくなって しまう。西部の他地域や国・県との連携について、「おわりに」に一言足すだ けではなく、もっと記述した方が良いと思う。
会長（司会）	大山町のみでなく、県西部地域、米子まで含め、ポテンシャルがもっと発揮で きるようなことも考えた方がいいという主旨であり、どこかの項に組み込んで 書いてもいい。 2) の「対象地活用の妥当性」についてはどうか。

委員	妻木晩田遺跡などの近隣施設だけでなく、もう少し範囲を広げた観光施設等との連携について記述があると、見栄えがする。
会長（司会）	「3. 提言」について、意見をいただきたい。
委員	儲かる事業より、まずは人がここに集まることが優先したい。RV パークも良いが、無料のキャンプ場があると嬉しい。キャンプする際に、地域の農産物を購入することで、地域の人にお金が落ちるのが理想。近隣地域を紹介するパンフレットを準備できればハブ的な役割にもなる。
委員	山陰道の休憩所という観点では、淀江 I C から西方向に 44km 何もないが、隣接する名和 I C の道の駅とは 8.5km しか離れておらず、大差ないため、距離を強調する必要はない。個人的には防災広場が良いと思った。コストは掛かるが、防災施設を地下に配置し、上部を何もない平たい土地にしたい。また、大山町として提言するより、西部広域の発展性を踏まえた方が、実現可能性が高いと思う。
委員	走行距離が長いという観点だが、距離ではなく、機能面について記述すればよい。
委員	名和 I C の道の駅は、山陰道から視認できないので接続性が弱く利便性が低い。提言書には、その視点で取りまとめたらいと思う。
会長（司会）	距離の問題というよりは接続性の問題。あとはスペースの問題。
委員	不足するものはガソリンスタンドである。
会長（司会）	その他は何か意見はあるか。
委員	防災広場として代替地はないか。重要度としては、どう評価しているか。
事務局	現在の防災計画では避難場所は学校の校舎や体育館等の屋内としている。この土地では、一次的に避難するのは大山町民ではなく淀江の住民が多いと考えられる。
委員	淀江は支所（屋内）が避難所である。
会長（司会）	元々は島根原発が有事の際に、避難所にしてはどうかという話だった。避難所だけでなく、物資の中継地点として活用することもできる。現状では具体的な活用計画があるわけではないため、一つの案としてまとめている。

委員	キッチンカーなど、撤退する際にコストが掛からないものの導入が良い。メインとなる建物以外はしっかりした建物でなくても良い。
委員	この土地はキャンプ場としてロケーションは良いのか。
委員	道路騒音は気になるが、山陰道側から見えないという利点がある。更地ではなく、段差があるのは面白いと思った。この辺はキャンプ場が少ないため、バンガロー等も併せていくつかの宿泊パターンが提供できれば良い。
会長（司会）	「2）発展可能性と持続性ある運営形態」という項目について。事前に大黒委員から運営形態の記述は、これまでに議論をしていないので、不必要という意見があった。運営形態について具体的に述べているわけではなく、民間や地域住民の参加を考慮すること、撤退のしやすさが必要であることを記述している。それも踏まえて意見を頂きたい。
委員	施設管理運営については随意契約になる場合もあるため、特に記述しない方が行政の方も柔軟な対応ができるのでは、というのが私の意見。
委員	ここの施設が商業的に使えるかどうかの問題。施設の管理運営については明記せず、使いたい会社の人が使いたいような形で利用できる施設が良い。
会長（司会）	「4. おわりに」の項目。「早期に国・県と協議を始めてほしい」という主旨である。先程の議題に上がった米子市との連携についても含めて、意見はあるか。
委員	米子市より西部広域という書き方が良い。
会長（司会）	上下水道のインフラや現在の残土をどうするかなど課題は多くあるが、議論していないものは言及をしていない。まずは、当該事案についての議論をスタートさせたいという旨の提言書になっている。 では最初の、町長宛の鏡文のページで何か意見はあるか。
委員	もしこの話がなくなった場合、また残土の仮置き場になるのか。国や県としても、この土地を有効活用したいと思っているのか。
委員（代理）	公共事業で土砂、残土がかなり発生する。処理費にかなり費用がかかるので、残土を再利用する観点で、スペースを有効利用している状況である。
委員	今回の計画と残土仮置き場の共存は難しいのか。

委員（代理）	一日に何百台の工事車両が出入りすることを踏まえると、安全確保を考えたときに、共存は厳しい。安全対策は万全としたい。
会長（司会）	残土を再利用する公共事業もあり、それとの巡り合わせになる。
委員（代理）	大山町での県道改良計画があるため、残土の活用をある程度考えている。
事務局	今日頂いた意見を踏まえて修正し、共有します。
会長（司会）	公表資料になるため、皆様のお名前が提言書に入ります。ご了承ください。
事務局	本日踏まえまして内容を今回のまとめということで、提言を行いたいと思います。